

## 2023年度 愛知県キャンプ協会総会議事録

日時：2023年5月21日(日)9時30分～11時15分 会場：至学館大学9000号A12講義室

### 1 開会のことば（時安理事長兼事務局長）

出席者 25人、委任状32名 正会員73人 \*会則19条第1項 正会員数の3分の1以上の出席をもって成立。

### 2 あいさつ 武藤会長

昨今のキャンプブームによりキャンプ人口が急増するなか、キャンプにまつわるルール違反、安全に対する理解不足など、様々なトラブルや迷惑行為が社会問題化しております。公益社団法人日本キャンプ協会では、規制やイメージダウンによりキャンプの広がりが後退することにならないように、グッドキャンパーの輪を広げていこうという運動（ムーブメント）が開始されました。本協会もこの運動をバックアップしていきたいと存じます。引き続き本会へのご理解とご協力をお願いします。

### 3 議事録署名人選出 ※事務局から提案された、会長、山根真紀理事と正会員の江川博一氏を選出。

### 4 議事 ※議長 <武藤会長> \*会則19条第2項 総会の議長は会長とする

#### 第1号議案 2022年度事業報告（説明：時安理事長）

1) 2022年度総会（2022年5月22日）。正会員75人中、参加23人、委任状36人。全議案賛成多数で承認。

#### 2) 普及推進事業

・あいちキャンプフェスタ2022 \*（公社）日本キャンプ協会ビジョン2020推進事業。子どもゆめ基金助成活動。

①安城デンパーク会場（10月1日）：4アクティビティ。参加者：こども303人、おとな254人。

②大高緑地会場（10月2日）：5アクティビティ。参加者：こども1156人、おとな993人。

2会場合わせて8団体のべ67人の運営スタッフが7月から11月にかけて実行委員会を7回実施。

・こどもキャンプ 期日：11月5日（土）～6日（日）運営役員：1人（内田理事）運営スタッフ：8人

会場：愛知県青年の家（岡崎市） 定員30人 参加者24人

インストラクターもこのキャンプを通して、改めてキャンプの楽しさや指導の難しさなどを体感し、良い指導経験になったと思われる。新たな資格取得者も巻き込んで、指導実践の場として、また、指導員間の交流の場としていきたい。

#### 3) 研修事業

・キャンプアカデミー2022 ※第2回は新型コロナウイルス拡大防止のため中止

①5月22日（日）「キャンプと災害～大規模自然災害に備えるキャンプ教育～」講師：日本福祉大学山本克彦教授

キャンプ指導者として必要な知識・技能と自然災害支援に関する教育を受けた学生の力が、被災地復旧・復興を支える大きな力となることなどについて説明をいただいた。指導者資格を有するキャンプ指導者が学生、地域と連携し、キャンプの知識・技能を自然災害時の活動、防災に活用していくことが求められることを認識できた。参加者22人

②3月11日（土）～12日（日）「災害時に備えるキャンプ講習会」 定員：20人 参加者：11人

昨年度に引き続き愛知ネットと共同で事業を企画し運営。体験を通して考え・動き・学ぶ時間は次への活動に繋がる。防災とキャンプのかかわりを学び続けたいという感想が聴かれた。協力：特定非営利活動法人愛知ネット

・キャンプ安全の日（公益社団法人日本キャンプ協会 全国一斉安全啓発キャンペーン）に3団体参加。

#### 4) 指導者養成事業

・キャンプインストラクター養成講習会 参加者：29人。資格申請23人（2023年度会員）

期日：2023年2月24日（金）～2月26日（日）会場：豊田市総合野外センター 定員20人

内容：一人だけの炊飯、災害時に備えたバッククッキング、テント設営と撤収、キャンプファイヤーの準備と運営、野外での安全管理、リスクマネジメント、ケガの手当てや搬送法等に関する様々な講義・実習を実施。

#### 5) 調査研究事業 愛知県キャンプ協会将来計画 「戦略プラン2022-2025」の策定

（公社）日本キャンプ協会の「ビジョン2025」をもとに、2022年から5年間の愛知県キャンプ協会の将来計画を「戦略プラン2022-2025」としてまとめた。具体的に詰めることがまだできていないが、各年度及び今後のロードマップを項目ごと作成し、年度ごとの報告を総会でやる。

#### 6) 情報発信事業

正会員72人（団体会員含む）。広報誌58号（9月）、59号（3月）を発行するほか、ホームページのリニューアルを検討していたが十分に進めることができなかった。将来計画と併せて検討しており2023年度中に具体案をまとめる。

#### 7) 事務局

（公社）日本キャンプ協会及び中部・北陸ブロックの県キャンプ協会との連携。日本キャンプミーティング等に参加。

#### 第2号議案 2022年度決算報告・監査報告（説明：増田理事）

##### <主な収入>

・会費のべ276人、団体会員9 会費収入約64万円、補助金収入約84万円、事業収入約18万円 他。

・会費収入が約10万円（50人）見込みより少なく、収入全体として当期予算より約100万円の減収。

##### <支出の部>

・研修会費、管理経費ともに無駄な支出を省いた運営ができた。

・当期の収入と比較して支出が上回っている。収入増が見込めない限り支出を抑える必要がある。

##### <運営基金>

・2024年度の40周年行事実施や不測の事態対応のために、予定どおり20万円を積み増すことができた。

##### <監査報告> （監事からの報告を増田理事が代読）

・帳簿、領収書、預金通帳等すべて適正に処理され、帳簿等にされている。

・場合によっては、次年度予算執行においては運営資金を取り崩さなければならない状況にあると判断せざるを得ない。実施する事業については独立採算を原則に、収支の均衡を図り実施すること。「中期事業

計画」を実質化し、収入増加策等の課題解決に向けて総力を挙げて取り組むことを要請する。

〈第1号議案、第2号議案 一括の質疑応答〉

○小倉様 2022年度収支計算書の支出の部「管理費」雑費の差異の記載が誤りでは無いか。

回答（増田理事）→ 確かに誤りであるので差異を「17,081円」に訂正する。

### 審議の結果、第1号議案、第2号議案ともに賛成多数で承認

第3号議案 2023-2024年度役員改選

時安理事長より2023-2024年度の役員（顧問の変更、理事）について説明がなされた。

### 審議の結果、第3号議案について賛成多数で承認

休憩を挟み、第1回理事会の報告がなされ、武藤会長から理事の互選により平松理事長、大山副理事長が決定した報告があり、平松新理事長の挨拶、理事の役割分担について説明がなされた。以下平松理事長のあいさつ文。

いつの時代も先行きは不透明なもの。進む道は拓けておらず困難が伴うものですが、自分が求めて歩む道だから、楽しむことができるもの。それが何であれ、自分で選んだ道なのだから「もっと楽しみたい」、と思っています。興味や関心のなかで物事を考え、湧きあがる自分の想いから答えを見つけ行動する。先がどうなっているのか、想像力を働かせる。すると「その先を見てみたい」という夢を抱くようになる。私自身がキャンプアカデミーで積み重ねてきたことであります。このような思いで取り組んでまいりますので、今後とも愛知県キャンプ協会の活動に、益々のご支援ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

第4号議案 2023年度事業計画（説明：平松理事長）

- ・2024年度は愛知県キャンプ協会設立40周年の記念事業を実施する予定であり、今年度はその準備として実行委員会を立ち上げ、2024年度の総会時に40周年記念事業を実施し、記念誌を発行する予定。
- ・あいちキャンプフェスタは昨年度同様に実施を考えている。安城デンパーク会場については期日未定。
- ・指導者交流会として昨年亡くなられた阿部さんを偲び、阿部さんと縁のある会場で実施を検討中。
- ・キャンプインストラクター養成講習会は前年度同様に実施し、キャンプディレクター2級養成講習会は中部・北陸ブロックの3つの県キャンプ協会で開催予定であるので、愛知県キャンプ協会はその支援にまわる。
- ・引き続き「戦略プラン2022-2025」をドメインごとのロードマップに沿って実施して行く。

第5号議案 2023年度予算案（説明：増田理事）

- ・会費は個人会員250人、12の団体会員を目標に収入を設定する。
- ・2事業が子どもゆめ基金の助成対象として認められ、補助金収入として163万円を計上する。
- ・理事会の持ち方、事務局の運営を見直していき、管理費の節約につとめ20万円減額して運営する。

〈第4号議案、第5号議案 一括の質疑応答〉

○山本様 総会時に実施予定の40周年記念事業においては、ぜひ（公社）日本キャンプ協会平田会長の講演を設定願いたい。

愛知県キャンプ協会の設立は、いくつか存在していた学生のキャンプ指導者団体をまとめ、各団体をつなげることである。新型コロナウイルスの影響で学生キャンプ指導者団体の運営が危ぶまれていると聞いている。愛知県キャンプ協会として団体の支援をどう考えているか。

回答（事務局）→ 40周年記念事業のご提案については、平田会長の予定もあるが前向き検討したい。学生団体の状況については、大学教員の多くの理事から状況を確認している。支援については、既存の団体、新規団体の立ち上げも含めて検討していきたい。

回答（林理事）→ MTCA（緑ヶ丘キャンプカウンセラー協会）もメンバーを増やすこと、活動時間を作っていくことの難しさを感じながら何とか運営している状況である。

回答（中野理事）→ 大学教員の立場で状況を認識している。学生会員間の情報共有の支援が必要。

○萩原様 第1回理事会報告の資料で、再下段欄外に理事・事務局長とあるが、事務局長が理事であれば、理事の並びに入るので無いか。

回答（事務局）→ ご指摘のとおりであるので、修正する。

### 審議の結果、第4号議案、第5号議案ともに賛成多数で承認

5 その他（時安事務局）

（公社）日本キャンプ協会が推進する「グッドキャンパーキャンペーン」の資料ができていますので、賛同する方がぜひ登録をお願いしたい。

以上、議事録に間違いありません。

2023年5月21日

議長 武藤 正美

議事録署名人 山根 真紀

議事録署名人 江川 博一